

傍（かたわら）には今、誰がいますか？ 何がありますか？

「オロオロ、おずおず」

2011年3月11日、突然「そのこと」は起った。
多くの人が為すすべもなく、「そのこと」=東北地方の地震、津波、原発事故に
大きく揺さぶられた。ただオロオロするばかりだった。
4日後、仲間のカメラマン宮田八郎が宮城・亶理町に暮らす
友人のミュージシャン苫米地サトロの安否を尋ね被災地に入り、撮影が始まった。
以来毎月11日、「月命日」の前後に私は仲間たちをさそって、宮城・亶理町と、
やはり友人の暮らす福島・飯舘村に通い続けることになる。
墓参りをするように撮影する記録があってもいいじゃないか…そう思っ

宮城から福島へ、そして宮城へ、
被災地の被災者の傍での一年。
それは、無慈悲な仕打ちを前にした「いのち」に寄りそうことだった。

被災地の一人ひとりにとっての時間は、
東京時間や世界時間ほどテンポ良くよどみなく
流れているわけではない、と思う。
止まったままの時間を生きている人だっているにちがいない。
あの日から、あの時から、
ずっと心の中で黙禱をし続けている人だっている。

津波を運んだ海、その海に浮かぶ満月の傍で。
友人たちの、逝ってしまった一人ひとりの、ただ祈る人々の傍で。
それでも大地に海に生きる人々の傍で。
ガレキに埋もれて咲く小さな花の傍で。
おずおずと
カメラを回し続けて残されたささやかな記憶の束を手渡したい。

記録と言うよりも、記憶。
私的でいびつな記憶。
風に揺れる記憶。

映像を撮るということは、「忘れない」ということなのだ。
人間は忘れてしまうけど、映像は「忘れない」ということだ。

傍（かたわら）に耳を澄ませて欲しい。

春が来て、夏が来て、秋が来て、冬が来て、再び春は来る。
「いのち」は生きるほうへ向かうのだから。

かんとく 伊勢 真一

伊勢 真一 (いせ しんいち)

ドキュメンタリー映像作家

1949年東京都生まれ。「奈緒ちゃん」
「ありがとう」「えんどこ」をはじめ、多くの
ヒューマンドキュメンタリーを製作。
近年は若手の作品プロデュースも積極
的に手がけている。
「風のかたち」文化庁映画賞・カトリック
映画賞、「大丈夫。」2011年度キネ
旬報文化映画ベスト・テン第1位。

苫米地 サトロ (とまべち さとろ)

シンガーソングライター

福島県生まれ。伊勢真一監督作品
「風のかたち」のテーマ曲を唄い、上
映会場などでライブを行う。今回の
震災で被災、地元の宮城県亶理町
で友人とともに「臨時災害ラジオFM
あおぞら」を立ち上げ、地域の復旧・
復興のため日々を過ごしている。
自作曲「満月」「ラッキードラゴン」他



出演—— 苫米地 サトロ 吉田 圭
 苫米地 花梨 苫米地 妻生
 亶理町臨時災害ラジオ「FMあおぞら」スタッフ
 宮城県亶理郡亶理町のみなさん
 小林 麻里 福島県相馬郡飯舘村のみなさん
撮影—— 石倉 隆二 宮田 八郎 内藤 雅行
 田辺 司 伊勢 朋矢 金 聖雄
照明—— 工藤 和雄
録音—— 世良 隆浩 永峯 康弘
音響構成—— 渡辺 丈彦
編曲—— 横内 丙午
チェロ演奏—— 白神あき絵
主題歌「満月」(作詞・作曲)—— 苫米地 サトロ
挿入曲「オレンジ」(作曲)—— 小関 佳宏
編集技術—— 尾尻 弘一
題字—— 細谷 亮太
宣伝デザイン—— 森岡 寛貴 (ジオングラフィック)
制作・上映デスク—— 保田 則子
協力—— 渋谷一丁目から亶理町へプロジェクト
 クロスフィット エンサイクロメディア
 ワースワーフス シャイグランス パールネット
 遙 英哲太鼓の会 ジオングラフィック
 亶理町支援にご協力頂いたみなさん
 米山 靖 竹野 裕子 康 宇政
上映協力—— MOCプロジェクト エーザイ株式会社
製作協力—— ヒボ コミュニケーションズ
 ハチロダクション 一隅社
製作—— いせFILM
演出—— 伊勢 真一

お問合せ

いせフィルム 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山N-ブリックビル3階
TEL.03-3406-9455 FAX.03-3406-9460 URL:<http://www.isefilm.com/>

E-mail:ise-film@rio.odn.ne.jp